基本理念

○私たちは、障がいのある人も、ない人も、共に生き、共に働くことを合言葉に、利用者一人ひとりの尊厳と権利を大切にし、利用者が生きがいと希望をもって、自立した生活と社会参加ができるよう、支援を行います。

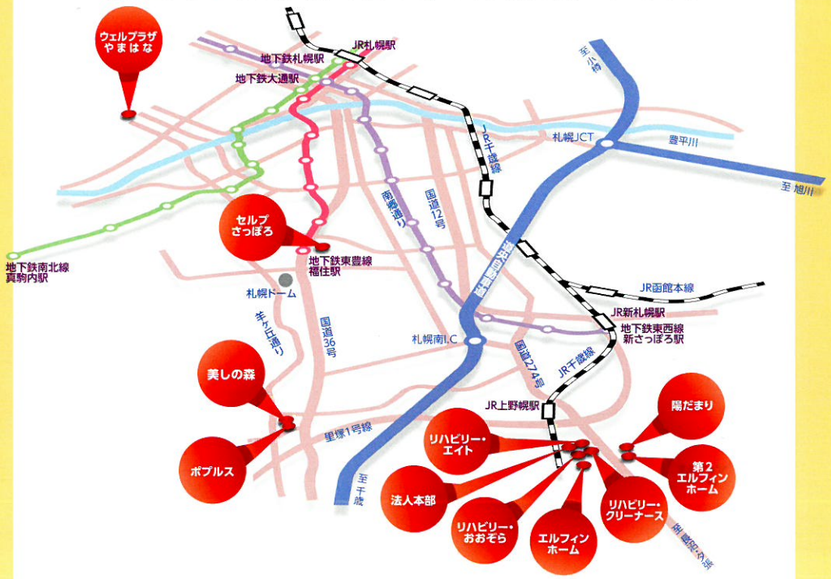
○私たちは、地域社会を構成する一員として、その責任と役割を自覚し、地域における福祉の充実・発展に貢献する事業活動を行います。

○私たちは、社会福祉事業の担い手として、社会規範を守り、常に福祉サービスの向上を目指すとともに、経営基盤の強化を図り、法人の健全な発展と、ここで働くすべての人の幸福の増進に努力します。

法人本部

所在地：北海道北広島市西の里507番地1
TEL(011) 375−2111(代)
FAX(011) 375−4051
URL：www.selp.net

当法人は、利用者の方々のニーズや適性･能力･障がい程度等に応じた日常生活の支援･援助･介護等を行っているほか、障がいのある方々の地域生活における自立と社会参加を促進するため、クリーニング・印刷・縫製などの作業訓練を通じて一般就労に向けた様々な就労支援を行っております。このため、法人独自の受注生産体制を確立するとともに、障がいのある方々のハンディキャップを補い就労の機会を広げるための就労支援機器等の導入を積極的に行い、適切な技術指導のもとに、職業的自立と社会参加へ向けた様々な支援を行っています。



施設要覧

社会福祉法人
北海道リハビリー

2017. 10

リハビリー・クリーナース

北広島施設

施設概要

■所　在　地　北海道北広島市西の里506番地
TEL（011）375−2114㈹　FAX（011）375−2148

■事業開始年月　平成24年２月（昭和38年７月設置）

■事 業 種 別　障害福祉サービス事業所
・就労移行支援事業　６名
・就労継続支援Ａ型　22名
・就労継続支援Ｂ型　32名

■生産活動の内容　（就労支援事業活動の主な作業内容）
・クリーニング（ホームクリーニング・ホテルリネン等）
・軽作業

施設の特色

リハビリー・クリーナースは、北海道身体障害者福祉協会の事業の一環として、昭和38年に開設した障がい者の授産施設が原点となっており、最盛期には100人の入所授産施設でしたが、障害者自立支援法の施行に伴い、入所者全員の地域生活への移行により入所授産施設を廃止し、平成24年２月に障害福祉サービス事業所リハビリー・クリーナースへと移行いたしました。

また、作業場は老朽化に伴い全面改築工事が行われ、平成29年２月に新施設棟が完成いたしました。

クリーナースの主な作業科目は、開設以来続けているクリーニングですが、その中でもホームクリーニングとホテルリネンが中心になっており、ホームは22の店舗、ホテル関係は札幌圏と地方を合わせて、約150軒の得意先を持ち、一般同業他社と肩を並べるほどの事業展開を行っております。

当事業所は、これら多様なクリーニング作業を活かし、多機能型事業所として障害種別・障害程度等の利用者の個性に応じた適切な職場配置や技術指導を行い、高工賃を基本とした就労機会の提供を行っています。また、利用者に対するクリーニング師国家資格取得者を輩出しています。リハビリー・クリーナースは、多様化する利用者ニーズへの対応と職場環境の改善など、職員が一丸となって、さらなる利用者サービスの質の向上に向かって歩み続けています。

施設の沿革

昭和38年 ７月	「北海道身体障害者福祉協会」が事業の一環として札幌郡広島村字西の里506に於いてクリーニング事業を開始
昭和39年 ４月	身体障害者授産施設を開設 ≪主授産科目－クリーニング　入所定員56名≫
昭和44年 ４月	通所事業の開始
平成 ９年 ３月	通所事業を廃止
平成24年 １月	身体障害者授産施設を新事業体系への移行に伴い廃止
平成24年 ２月	障害福祉サービス事業を開設

リハビリー・おおぞら

北広島施設

施設概要

■所　在　地　北海道北広島市西の里506番地
TEL（011）375−2249㈹　FAX（011）375−2157

■事業開始年月　平成18年10月（昭和53年４月設置）

■事 業 種 別　障害福祉サービス事業所
・就労移行支援事業　６名
・就労継続支援Ａ型　34名
・就労継続支援Ｂ型　60名

■生産活動の内容　（就労支援事業活動の主な作業内容）
・クリーニング（寝具リネン・病衣リネン・ダイアパー・タオルリネン・白衣リネン）

施設の特色

リハビリー・おおぞらは、昭和53年４月に社会福祉事業法授産施設（定員40名）として開設した「リハビリー作業所」と平成９年４月に通所授産施設（定員50名）として開設した「リハビリー・ユーアイ」の２施設を統合し、平成19年10月に通所100名定員の障害福祉サービス事業所として事業移行をしました。また、作業場は老朽化に伴い全面改築工事をし、平成24年11月から本格稼働いたしました。施設棟は、バリアフリーを基本として110名利用可能な食堂の他、シャワールームも完備し、利用者にとって安心安全なサービスを提供する快適な空間となっています。主な作業内容はクリーニングで病院や施設の寝具・病衣・白衣類・ダイアパー等のリネンサプライを主体としており、得意先は230軒、病院等のベッド数では16,000床に及び、道内業界シェア２位の規模となっています。このクリーニング作業は、医療関連サービスマークの認定を受け、衛生法をはじめ業界自主規制の下で厳格な衛生管理を行っており、更には効率的な生産ラインと最新の機械設備の導入により、利用者の方々も余裕を持って安心して作業を行っています。

施設は、多機能型であり、個々の利用者の障害種別や障害程度に応じた適切な職場配置や技術指導を行い、高工賃を基本とした就労機会の提供のほか、軽作業や一般就労に向けた支援にも力を入れています。

施設の沿革

昭和53年 ４月	社会福祉事業法授産施設「リハビリー作業所」を開設 ≪主授産科目－クリーニング　通所定員40名≫
昭和 ９年 ４月	身体障害者通所授産施設「リハビリー・ユーアイ」を開設 ≪主授産科目－クリーニング　入所定員50名≫
昭和18年 ９月	社会福祉事業法授産施設「リハビリー作業所」を新事業体系への移行に伴い廃止
平成18年10月	障害福祉サービス事業「リハビリー作業所」を開設
平成19年 ９月	身体障害者通所授産施設「リハビリー・ユーアイ」を廃止
平成19年10月	「リハビリー作業所」と「リハビリー・ユーアイ」の事業を統合し、「リハビリー・おおぞら」に改称

リハビリー・エイト

北広島施設

施設概要

■所　在　地　北海道北広島市西の里507番地１
TEL（011）375−2116㈹　FAX（011）375−2115

■事業開始年月　平成22年11月（昭和43年４月設置）

■事 業 種 別　障害者支援施設
・施設入所支援事業　40名
・生活介護事業　40名
障害福祉サービス事業
・就労移行支援事業　６名
・就労継続支援Ｂ型事業　34名
・短期入所事業（空床利用型）

■生産活動の内容　（就労支援事業活動の主な作業内容）
・総合印刷
（オフセット印刷・オンデマンド印刷・スクリーン印刷・製本・企画・デザイン・編集・ホームページ作成等）
・軽作業

施設の特色

昭和43年４月に重度身体障害者授産施設として開設し、平成22年11月に障害者自立支援法に基づき障害者支援施設へ移行しました。

主として夜間において日常生活上の支援を行う「施設入所支援事業」のほか、昼間実施サービスとして、「生活介護事業」「就労移行支援事業」「就労継続支援Ｂ型事業」を一体的に実施する多機能型の事業所です。

入浴、排せつ及び食事等の介助や生活等に関する相談・助言、創作的活動や生産活動の機会の提供等を通して、身体機能や生活能力の向上のために必要な援助を行うとともに、就労支援においては、働く意欲がありながら障がい等の理由により一般の事業所に雇用されることが困難な方々に対し、就労に必要な訓練･支援を効果的に行い、社会参加と社会的自立「働く･くらす」を支援しています。

多様化する利用者ニーズや障がい特性等に応じた障害福祉サービスを提供するとともに、就労支援事業活動においては、印刷事業等を通して広く社会と福祉に貢献するという理念のもとに、高品質な製品をお届けするためにお客様とのコミュニケーションを大切にするとともに、長年培ってきた技術とノウハウ、最新の印刷機器を融合し、安心と信頼に応えるサービスを提供しています。

施設の沿革

昭和43年 ４月　重度身体障害者授産施設「リハビリー・エイト」を開設≪主授産科目－印刷　入所定員30名≫
昭和53年 ８月　通所事業の開始
平成13年 ８月　北広島市西の里507番地１に移転改築
平成15年 ４月　重度身体障害者授産施設から身体障害者授産施設へ変更
平成22年10月　身体障害者授産施設を新事業体系移行に伴い廃止
平成22年11月　障害者支援施設・障害福祉サービス事業を開設

エルフィンホーム

北広島施設

施設概要

■所　在　地　北海道北広島市西の里南１丁目４−７
TEL（011）375−3820㈹　FAX（011）375−3821
北海道北広島市西の里東１丁目１−３
TEL（011）802−5202㈹　FAX（011）802−5202

■事業開始年月　平成24年２月（えぞりす、かわせみ、クローバー）
平成29年10月（かえで）

■事 業 種 別　障害福祉サービス事業所
・共同生活援助事業　35名
（えぞりす　10名　クローバー　７名
かわせみ　10名　かえで　８名）

施設の特色

エルフィンホームは、平成24年２月にリハビリー・クリーナースの新事業体系移行に伴い、今までの入所施設を廃止し新たにグループホーム・ケアホーム一体型事業所として開設しました。

男性棟として「えぞりす」「かわせみ」、女性棟として「クローバー」、共同棟として「かえで」がそれぞれあります。入居者の居住性や適切な入居者支援を考慮し、快適で安全な生活に配慮したユニバーサルデザインを採用、設備はスプリンクラーや個別居室、緊急呼出、防犯カメラなどを完備しています。

支援体制に関しても、入居者が安心して利用できることと、障がい特性を考慮して、管理者、サービス管理責任者、生活支援員、世話人、夜間支援従事者を配置しています。支援内容も365日24時間の支援、日中活動への送迎支援、通院送迎支援などを行っています。

また、エルフィンホームは地域に根ざした施設を目指して、地域の行事や環境美化活動などにも積極的に参加しています。

施設の沿革

平成24年 ２月　障害福祉サービス事業「エルフィンホーム」を開設
≪定員27名（えぞりす10名、かわせみ10名、クローバー７名）≫
平成29年 10月　障害福祉サービス事業「第２エルフィンホーム」を開設
≪定員８名（かえで８名）≫

陽だまり

北広島施設

施設概要

■所　在　地　北海道北広島市西の里北1丁目1−45
TEL（011）398−7032
FAX（011）398−7032

■事業開始年月　平成25年3月

■事 業 種 別　児童自立生活援助事業
・自立援助ホーム　5名（女子）

施設の特色

自立援助ホームとは、様々な事情によって家庭での生活ができない、そして児童養護施設等での支援も受けられない15歳～20歳までの子どもたちが、自立をめざす仲間と一緒に共同生活を行い、働きながら社会で独り立ちしていく力を身につけていくための施設です。

自立援助ホーム「陽だまり」では、安全・安心でぬくもりのある家庭的な雰囲気の中で、子どもの自主性を尊重し、自分で判断し行動ができる環境を整えることを大切にしています。規則正しい生活を習慣づけ、基本的な家事や金銭管理の仕方を身に付けるなど、社会に適応するためのスキルと継続して働く力を育み、退所後のアフターケアを含めた幅広いサポートを目指します。

美しの森

札幌施設

施設概要

■所　在　地　北海道札幌市清田区美しが丘３条４丁目１番50号
TEL（011）885−1001㈹　FAX（011）885−2100

■事業開始年月　平成22年11月（昭和48年３月設置）

■事 業 種 別　障害者支援施設
・施設入所支援事業　30名
・生活介護事業　22名
障害福祉サービス事業
・就労継続支援Ｂ型事業　20名
・短期入所事業（空床利用型）

■生産活動の内容　（就労支援事業活動の主な作業内容）
・パン製造、清掃作業

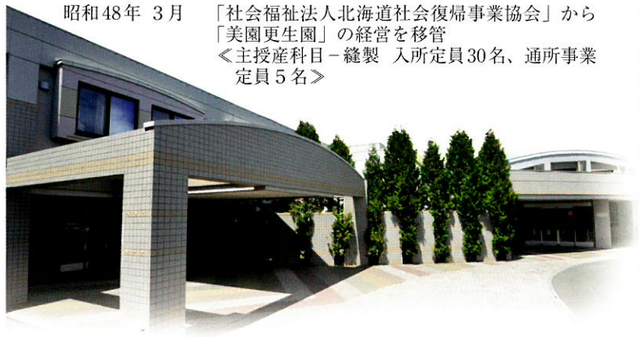
施設の特色

美しの森は、昭和48年３月に北海道社会復帰事業協会からリハビリーに移管された身体障害者授産施設「美園更生園」が主体となっています。当時は、聾唖者を中心として縫製作業を行う施設でしたが、授産事業を続ける中、利用されている方々の高齢化や障がいの重度化が進み、また授産以外の生きがいや生活の質の向上を支援していく必要があるとして、平成22年11月から障害者支援施設に移行することを機に、縫製部門をセルプさっぽろに移管し支援の中心を生活介護事業に置き、入所・通所を合わせた40名の利用者への食事、入浴など生活上の介護の他、レクリエーションや創作活動の支援、また誕生日や夏の焼肉会、クリスマスパーティーなどの様々な行事を提供し、生活の質の向上を目指した活動を行っています。また、小規模ではありますが、就労継続支援Ｂ型では、パン工房を設け利用者と共にパン作りから販売までを行っている他、清掃作業を一般就労への近道と捉え、日常清掃の実施訓練体制を整えるなどにより、一般企業や老人施設などへの就職を果たした方もおり、先輩の後に続かんと皆毎日張り切って訓練に励んでいます。

また、平成29年４月に地域密着施設をめざし、住所地の地名の一部を用い「美しの森」に施設名を改称しました。

施設の沿革

昭和48年 ３月	「社会福祉法人北海道社会復帰事業協会」から「美園更生園」の経営を移管 ≪主授産科目－縫製　入所定員30名、通所事業定員５名≫
平成 ３年 ５月	「美園更生園」を「札幌ワークセンター」に改称
平成10年 ３月	通所事業を廃止
平成11年10月	札幌市清田区に移転改築
平成22年10月	身体障害者授産施設を新事業体系への移行に伴い廃止
平成22年11月	障害者支援施設・障害福祉サービス事業「札幌ワークセンター」を開設
平成24年 ４月	地域活動支援センター「ポプルス」と統合して就労継続支援Ｂ型事業を開始
平成29年 ４月	「札幌ワークセンター」を「美しの森」に改称



ポプルス

札幌施設

施設概要

■所　在　地　北海道札幌市清田区美しが丘3条4丁目1番50号
TEL（011）885−2211㈹　FAX（011）885−2200

■事業開始年月　平成27年１月

■事 業 種 別　特定相談支援事業
・計画相談支援
・サービス利用支援、継続サービス利用支援

施設の特色

障がいのある方やその家族等の相談に応じ、障がいのある方が障害福祉サービスの利用などにより地域の中で自立した生活が営まれるよう、サービス等利用計画を作成し、関係機関と連携を図り希望する生活が実現できるよう支援します。

地域に根ざし、福祉とビジネスの両輪を力強く回し続けます。

セルプさっぽろ ウェルプラザやまはな

札幌施設

施設概要

■所　在　地　北海道札幌市豊平区月寒東１条11丁目8−6
TEL（011）857−1111㈹　FAX（011）857−1113
ウェルプラザやまはな
北海道札幌市中央区南19条西14丁目1−23
TEL（011）561−3309㈹　FAX（011）561−3673

■事業開始年月　平成18年10月（昭和10年４月設置）
（ウェルプラザやまはな：平成20年７月）

■事 業 種 別　障害福祉サービス事業所
・就労移行支援事業　６名
・就労継続支援Ａ型事業　10名
・就労継続支援Ｂ型事業　84名

■生産活動の内容　（就労支援事業活動の主な作業内容）
・縫製・軽作業・ウエス製造販売・クリーニング

施設の特色

豊平区美園にあった身体障害者授産施設「札幌ワークセンター」の通所事業部門を分離し、平成10年４月、札幌市豊平区月寒東に単独施設として身体障害者通所授産施設「セルプさっぽろ」を開設しました。

その後、障害者自立支援法の施行に伴い、平成18年10月に新事業体系に移行し、多機能型の障害福祉サービス事業を展開することで、身体障がい者の利用のほかに知的障がい者や精神障がい者も受け入れ就労の機会を提供しています。また、一般就労に必要な支援や定着支援も行っており、毎年多くの方が一般企業に就職しています。

平成20年７月には、従たる事業所として「ウェルプラザやまはな」を開設したことで、作業科目にクリーニング作業が加わり、縫製作業、軽作業とともに幅広いサービスの提供をすることができるようになりました。

地下鉄東豊線福住駅から徒歩５分と近く、利用される方が通いやすい環境の中で、自立した日常生活や社会生活を営むことができるように、就労や生産活動の機会を提供することで、就労に必要な知識、能力の向上に必要な訓練を効果的に行っています。

施設の沿革

平成10年 ４月	身体障害者通所授産施設「セルプさっぽろ」を開設≪主授産科目－縫製　定員50名≫
平成18年 ９月	身体障害者通所授産施設を新事業体系への移行に伴い廃止
平成18年10月	障害福祉サービス事業を開設
平成20年 ７月	従たる事業所「ウェルプラザやまはな」の開設に伴い、就労継続支援Ａ型事業を開始